

蝶理株式会社 株主総会 議事要旨

日時：2015年6月15日10時～11時10分

場所：品川インターシティホール

株主数 4,984名、総議決権の個数 244,733個

出席株主 55名、議決権 139,373個

事前に議決権行使した株主数 1,443名、議決権 72,457個

1. 監査役の報告
2. 報告事項の説明
3. 報告事項に関する質疑応答（質疑は、弊社の丸木のもののみ掲載。下記は要旨であり、完全な議事録ではない。なお、回答は全て先濱社長である。）

＜問 1-1＞ROE について

昨年の政府の方針である「日本再興計画 2014」では、日本の ROE を国際的な水準に高めようと記載されていた。当社は、まだ ROE10%を超えてはいるものの、以前の 20%超の水準から下がってきている。株主としては、ミヤコ化学買収の具体的な効果についても期待しており、ROE もここから反転させてもらいたい。

ところで、親会社の東レの先月公表の決算説明資料には、2014 年度は 7.7%であった ROE の 2016 年度の目標が 10%と明記されている。当社は連結子会社であるから、当然に当社としての目標もあると思う。当社の ROE の目標を説明していただきたい。

＜回答 1-1＞

ROE は重要な経営指標ではあるが、当社は ROA を重視している。ただし、ROE10%以上は維持したい。

＜問 1-2＞当社は東レの連結子会社である。東レの ROE 目標の公表の前に東レと当社の間で ROE の目標等について何らかの話し合いは無かったのか。

＜回答 1-2＞無かった。

＜問 2＞IR について

何回も要請しているが、社長が面談に応じていただけない。担当の河村部長には真摯に対応していただき感謝はしている。

しかし、株主に選ばれ、コーポレートガバナンス・コードに言うところの受託者責任を負う取締役のトップとして、株主に対する説明責任はあるのではないかと。

今後は、社長が大株主や機関投資家に対し、面談を行っていただけると期待して良いかと。

<回答 2>年 2 回の会社説明会で、機関投資家相手に私がお話している。個別の投資家との面談は、考えていない。

<問 3>配当性向が低く、内部留保過多であることについて

当社の有利子負債は約 10 億円にすぎず、事実上無借金である。3 月末時点で現預金等や投資有価証券を 185 億円保有している。先般発表された M&A で 60 数億円使うとしても、十分余裕がある。

この、溜め込み過ぎた内部留保を日本のために使うべきということは、昨年の政府の方針である「日本再興計画」にも記載されていた。

当社は、これ以上内部留保を貯め込むと ROE も下がる要因となる。増配や自社株買いで株主還元を努めるべきではないかと。

<回答 3>溜め込んでいるとの意識はない。今後も成長戦略に資金を使う。株主還元も機動的に考える。

<意見 4>社外取締役

当社は東レが 50%超を保有しており、東レの意見が通ってしまう会社であるように見える。少数株主の代弁者としての社外取締役が本当に必要な会社であると思う。複数の社外取締役推薦をお願いしたい。

<質問 5-1>政策保有株式について

当社はワコールの株式を保有しており、ワコールも当社の大株主となっている。いわゆる持ち合いを行っている。

みずほ FG は、原則として政策保有株は保有しない方針であると、東証に提出した「コーポレートガバナンスに関する報告書」にその方針を開示したとのことである。当社の政策保有株式の保有に関する方針は、どうなっているのか。

<回答 5-1>政策保有株式については、経営会議において厳格に審議し、確認している。

<質問 5-2>ワコールの株式の保有の理由は、当社の有価証券報告書には、取引の維持・拡大 or 発展と記載されていたと思う。何故、株式を保有していると、取引ができるのか。

<回答 5-2>個別の株式のことにはお答えしない。

<意見 5-3>私は、およそ上場企業の政策保有株式で、取引の維持拡大等を理由としているものについては、「株主であるから取引できる」という株主への利益供与の疑いがあると思っている。または、昔はそのような意味があったが、今は現金類似資産として保有を継続しているだけということかもしれない。

いずれにしても、当社も政策保有株式は持たないという方針を決めていただくようお願いしたい。

以上の他、他の株主から 7 件程度の質問があった。

4. 議案毎に、説明と議決

第二号議案（取締役 8 名選任の件）について

<丸木>弊社には、議決権行使基準というものがあり、これに応じて議決権行使を行っている。一定の事由に抵触する場合は、代表取締役の選任に反対することとしている。先ほど質問もしたが、①IR が悪い、すなわち、社長が個別の機関投資家との面談に対応せずに担当部長に丸投げしていること、②内部留保が多いのに配当性向が低いこと、③社外取締役が 1 名しかいないこと、等の理由で、先濱社長についてのみ、選任に反対する。

全ての議案が賛成多数で可決。

以上

株主総会終了後、社長が新任取締役と監査役を紹介。

その後、「(株主?) 懇談会」と称し、30 分程度の事業概要の説明と質疑応答。